

## 山尾 貴則 (YAMAOKI Takanori)

専門は、シンボリック相互作用論。2001年、博士後期課程単位取得満期退学。2005年、博士。

G.H. ミードの社会理論の研究。

2001年、東北大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学後、東北大学大学院文学研究科助手を経て、現在、作新学院大学人間文化学部准教授。

現在は、インターネットを利用した高齢者ネットワークの形成過程にも関心を広げている。

### 主要業績

#### 論文

- ・2005, 「インターネット時代の福祉情報化 長野県諏訪地域における取り組みを手がかりに」『作新学院大学人間文化学部紀要』3.
- ・2005, 「G.H. ミード「社会心理学」の研究 「科学の方法」論を手がかりに」東北大学(博士学位論文).
- ・2003, 「G.H. ミード科学方法論の検討」, 『作新学院大学人間文化学部紀要』1:53-70.
- ・2001, 「インターネット時代の地域情報化 長野県諏訪地域の事例」『東北文化研究室紀要』42:1-15.
- ・研究代表者 船津衛, 1995, 「地域情報化の論理と現実 まとめ」(研究課題番号 05451030), 『平成7年度科学研究費補助金(一般研究B)研究報告書』(山尾担当分: 第1章第2節「計画システムと具体的施策」(5 - 13頁): 第4章第2節1)「CATVとの接触状況」(75 - 84頁)).
- ・研究代表者 船津衛, 1994, 「(続)地域情報化の論理と現実」(研究課題番号 05451030), 『平成6年度科学研究費補助金(一般研究B)研究報告書』(山尾担当分: 第1章第3節「計画システムと具体的施策」(4 - 17頁): 第2章第3節1)「CATVとの接触状況」(59 - 74頁)).
- ・1997, 「ミード理論における社会過程の構成と自我発生 ゲーム段階における社会的行為と社会的対象との相互関係について」『社会学研究』64:97-120.
- ・1997, 「地域情報化の転換」, 『社会学研究』64:25-48. (船津衛, 桑原司との共著)
- ・1996, 「G.H. ミード理論における『役割取得』概念の再検討」, 『社会学年報』25:149-166.

#### リンク

- ・ [山尾研究室](#)
- ・ [人間文化学部 WebNews](#)
- ・ [作新学院大学人間文化学部](#)
- ・ [READ](#)

#### 研究カテゴリ